

地域活性化研究所の目的・運営方針・事業

目的

人文・社会・自然科学の各研究分野の融合を図り、国際的な視野のもとで変化する地域の問題、環境と開発の問題等を研究し、それらの解決策を見出してゆくことによって、地域活性化に貢献することを目的とする。

運営方針

- ① 研究者・地域に開かれた、オープンな研究環境を実現する。
- ② 産・官・学・民の連携を図り、地域の活性化を促す。
- ③ 世界に開かれた、情報発信基地を目指す。
- ④ 学部・学科などの枠組みを越えて、学際的な共同研究プロジェクトを推進する。

主要な研究事業

- ① まちづくり、福祉施策、中心市街地活性化、観光振興、財政問題等、各種サービス行政・住民および民間との連携のあり方を地域に密着して究明する。
- ② 環境共生社会の実現のため、支援ツール、社会的コスト、グローバルモデルなどの基礎的研究を実施する。
- ③ 定住環境形成、観光交通問題、歴史的都市の活性化などの学際的分野に挑戦する。
- ④ 開発途上国のコミュニティ計画、環境衛生、多民族社会の問題などを通してアジアのまちづくりを研究する。
- ⑤ 環日本海の観光インフラ調査、邑楽地域一帯の観光資源調査など、地域活性のための国内外にわたる観光研究を進める。
- ⑥ 地域活性化のための生命科学・食環境科学に関する研究を進める。
- ⑦ 国内外の関連学会、大学、研究機関等との多角的な交流・提携ならびに研究成果の交換と共有化を進める。
- ⑧ 講演会・シンポジウム・研究会等を企画・開催する。